

土地利用構想

土地利用構想

寄居町が目指すすがたと基本目標を実現するため、10年後、そしてその先の未来も見据えて、町の活力や暮らしの魅力を持続させることに主眼を置き、地域特性を活かした計画的な土地利用を進めます。

1 コンパクトな市街地を形成する地域

～寄居駅・男衾駅周辺の地域～

寄居駅・男衾駅の周辺は、公共施設や公共交通（鉄道・バス等）の利用や日常の買物など、日常生活の利便性が高いまちを目指します。鉄道駅を中心に歩いて暮らせる範囲で住宅地形成を誘導し、一定の居住密度を維持しながら、コンパクトな市街地を形成していきます。

～中心市街地～

寄居駅南地区については、寄居町全体の活力創造と広域交通・観光の拠点となる中心市街地として充実した生活が送れ、歩いて楽しいまちを目指します。

2 農と住の調和のある地域

～市街地の周辺や鉄道駅を利用しやすい地域～

優良な農地と居住が調和した環境を維持するため、農用地区域外の無秩序な住宅地形成等による市街地拡大を抑制していきます。

3 先端技術を活かした産業活動を展開する地域

～南部の丘陵地域～

先進的な資源再生と技術開発に取り組む「彩の国資源循環工場」や高度な自動車生産技術を確立し世界に展開する工場を中核として、周辺環境との調和を図りつつ、産業活動や研究・開発、企業間連携、技術交流を展開する企業の集積を維持・発展させていきます。

4 新たな産業・活力を育成する地域

～関越自動車道へのアクセス性に優れた地域～

先端技術を有する産業の集積を活かし、町の新しい産業や活力を生み出す新たな企業の立地や交流機能等を誘導するため、既存の工業用地に加え、赤浜地区・寄居 PA スマート IC 周辺など関越自動車道へのアクセスに優れた地域において、受け皿となる土地利用を計画的かつ段階的に推進し、都市基盤を整備していきます。

5 農業的利用を優先する地域 ～山の辺から裾野までの農業を振興する地域～

まとまった規模の優良農地の保全や集約化を図る一方で、桑畑や遊休農地を活用して農業の新たな活力を創出するため、山を背景としながら、観光・体験・交流を楽しめる生産拠点としての整備を促進します。

6 水辺環境を保全・創造する地域 ～母なる川、荒川を中心とする荒川水系の地域～

野生生物の生息・生育にとって重要な水辺環境の保全や美しい景観の創造に努めるとともに、「水の郷」にふさわしく、荒川及びその支流において様々な楽しみ方ができる空間として整備・活用・維持管理を進めます。

7 森林の利用を優先する地域 ～美しい山並みを形成する山間地域～

林業を振興するとともに、森林がもつ多面的な機能を維持・増進させていきます。あわせて、土砂災害等の危険箇所を踏まえた安全対策とともに、観光・体験・交流の場としての整備・活用・維持管理を通じて、中山間地域の活性化を図ります。

8 観光・交流を重点的に振興する地域 ～おもてなしの舞台を充実する地域～

水と緑の美しい景観との調和を図り、水辺や森林、農村など、地域それぞれの特色ある整備を行うとともに、荒川を軸としたネットワーク化と回遊性の向上を図ります。あわせて、広域的な観光・交流の拠点としての中心市街地の整備を進めます。

凡 例	
	コンパクトな市街地を形成する地域
	中心市街地
	農と住の調和のある地域
	先端技術を活かした産業活動を展開する地域
	新たな産業・活力を育成する地域
	（上記のうち工業等導入済みの地域）
	農業的利用を優先する地域
	水辺環境を保全・創造する地域
	森林の利用を優先する地域
	観光・交流を重点的に振興する地域
	道 路
	鉄 道 ・ 駅
	河 川 ・ 湖 沼
	小学校
	中学校

